

# 放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

## 回答率

事業所職員： 6名回答、回答率 100%

保護者様： 24名回答、回答率 92%

## 職員の意見

### ○環境・体制整備

- ・出来る限りスペースを確保出来るように、訓練室には必要最低限の物のみを置くようにして、スペース確保に努めている。
- ・ボールコーナーが狭いため、人数を減らしたり、全員で遊びを統一したりしてもらうなど、自由時間の過ごし方を定めている。利用人数に応じて訓練室を広々と使えるようにルールを変えるなど出来る限り安全で広々過ごせるように工夫をしている。

### ○業務改善

- ・ガイドライン自己評価の結果を分析し、次年度の改善計画を立てている。目標等を教室内で共有し、ニュースレターやブログ、ホームページ等でその内容を公開出来ている。
- ・第三者による外部評価は受けられていないが、教室内での業務前ミーティングで前日の支援終了後のフィードバックを行うことで業務改善に努めている。

### ○適切な支援の提供

- ・活動プログラムの立案に関しては、毎月全職員で意見を出し合い児童の発達段階に合わせた活動を実施できている。
- ・支援の途中でも、新しく得た情報に関しては、すぐに職員全員で共有するようにしている。特に長期休暇や土曜祝日開室日は、都度共有することをメモに残し、全員が同じ情報を確認できるようにしている。
- ・支援終了後には、各自振り返りを行い、気が付いた点をその日に共有し合っている。当日の振り返りで全体に共有すべき議題は、後日ミーティングで改めて共有し適切な支援に向けて話し合っている。

### ○関係機関や保護者との連携

- ・学校と連携し、児童の最近の様子など状況把握に努めている。
- ・家庭連携や事業所内相談支援という形で月に何回か保護者との支援相談の場を設けている。家庭連携等を行っていないご家庭にも、送迎時等でも日々の様子をお伝えし、今後も連携ができるように工夫をしていきたい。

### ○保護者への説明責任等

- ・保護者会等コロナ禍以降未実施になってしまっている。夏休みには療育参観を実施することもできたが、今後は年に1回は最低でも開催できるよう体勢を整えていきたい。

### ○非常時等の対応

- ・緊急時や非常時にどのように対策をするか、虐待防止のため職員が研修会へ参加する機会を確保し、対応ができるように努めている。

# 保護者様のご意見

## ○環境・体制整備

・環境体制整備においては、保護者送りが当たり前になっているところを改善してほしいとの意見や男児対応を女性スタッフがするには限界があるのではないかという意見を戴いた。

自立に向けてという観点でも徒歩迎え等教室で出来る限りの対策をしていき改善に努めると共に、男児対応については、近隣教室にも協力を仰ぎ、問題解決に向けて動いていきたい。

## ○適切な支援の提供

・放課後デイサービス計画作成に対し、作成を行ってくれない事業所もある中しっかりと作成してくれていると高評価を戴いたが、活動については指導員から送迎時に行う申し送りから保護者は判断しなくてはならず活動時間帯の見学をしたいという意見も戴いた。療育参観等を利用し、活動についても知っていただける時間を作っていく。

## ○保護者への説明等

・支援内容や利用者負担等への説明、お子様の発達の状況や課題については、家庭連携や事業所内相談支援、送迎等で共通認識できていることについて高評価を頂いた。送迎の変更などの情報がうまくいかないことがあったため、アプリなどで情報を共有・管理が出来たら嬉しいのご意見を戴いた。口頭での確認だけでなく、サービス提供記録やメール等を利用し、互いに確認が出来るように努めていく。

## ○非常時等の対応

・毎月の避難訓練の開催は行っているが、保護者の方の中には緊急時の対応について分からないのご回答を戴いた。緊急時の対応についての改めて文面等で周知・説明を行い、安心していただけるよう努めていく。

## ○満足度

・様々なサポート、イベント、活動などで支えてもらっていると高評価を戴いた。外出の機会があると良いなど課外活動に関しての意見も戴いたので、外出先の選定を行い、今年度以上に課外活動を行えるよう準備を進めていく。

# 昨年度の振り返り

## ○今年度の取り組む具体策

- ・支援内容の質をより高いものにしていくために、家庭連携や事業所内相談支援を一層進めていく。
- ・遠隔支援を活用した療育参観も検討し、教室内だけではなく、ご家庭でも行っていける支援方法を伝えていき、コロナ下でも途切れることのない支援を進めていく。
- ・オンラインの座談会や療育参観、スタッフ紹介等教室の事を知っていただくための取り組みを実施する。
- ・台風時や降雪時の対応を記したお手紙をお渡しする等、非常時でもしっかりと保護者様と連携が取れる体制が取れる様緊急時の対応について周知方法を検討する。

## ○改善できた点・まだ残る課題

- ・家庭連携、事業所内相談支援に関しては、6月以降コロナが5類へと移行したことで実際に送迎時や来所という形で行うことが出来たが、ご家庭や送迎の都合上すべてのご相談に対応することが難しかったため来年度の課題としたい。
- ・遠隔支援が5月以降なくなり、実際に教室へ来ての対面での支援へと変わった為、オンラインを使っでの療育参観・座談会の実施は行えなかったが、ご利用に関しては振替利用等で実際に支援を提供させていただける機会を増やすことが出来た。
- ・台風や降雪時の対応に関するお手紙はそれぞれお渡し出来ているが、周知の徹底までには至っていないため今後も課題としたい。

# アンケート結果からみる教室の強み・改善点

## ○教室の強み

- ・個別支援計画がしっかりと作成できている。
- ・個別課題、活動プログラムの内容、保護者との情報共有に関して、
- ・家庭連携や事業所内相談支援、個人面談等で聞き取りをしたことを職員間で共有できている、共有した情報を元に支援の見直しや変更を行っている。
- ・日々のフィードバックや保護者から戴いたご相談に対してアドバイスを行ってきたことに対して高い評価をいただいている。

## ○改善点

- ・活動の紹介では、ブログなどで前年度より力を入れられたが、ご希望いただいていた療育参観・保護者会の開催は難しかった。
- ・家庭連携等でご家庭でのご家庭とご相談しながら療育を進められたが、すべてのご家庭と行うことが難しかった。
- ・台風や降雪時の対応に関するお手紙はそれぞれお渡し出来ているが、周知の徹底までには至っていない。
- ・口頭の連絡で、ご家庭との連絡がお互いに行き違いが発生してしまったため別の方法を確立する必要がある。

# 中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

## ○中長期的な改善計画

- ・保護者との連絡の際は、メールなどを活用しお互いが文面で情報を確認できるよう環境を整える。
- ・実際の活動を見ていただける機会や、支援内容をお伝えするツールを増やしていく。
- ・災害時や台風などイレギュラー対応についての教室でどのような動きをしているのかや実際の避難場所などの周知を進める。

## ○1年間で取り組む具体策

- ・家庭連携や事業所内相談支援を含めた保護者との関係作りをさらに促進するため、保護者様のニーズにあった形での提案を行う。
- ・保護者会や療育参観を年に1度は実施し、実際に活動を保護者の方に知っていただける機会を作る。
- ・振替利用や送迎等の連絡事項について、口頭でもお伝えしているが分かりにくさがあった。相談支援カレンダーやメール、サービス提供記録を活用しお互いが同じ情報を文面で確認できる体制を作る。
- ・保護者会で避難訓練の様子や緊急時の対応についてご説明する時間を設けたり、ブログ等で災害時の対応について日頃児童とどのように訓練を行っているのかを発信する。

スマートキッズ